



臨床病理検討会(CPC)開催報告

初期臨床研修医 成田純弥

7月7日、令和5年度第1回目となる臨床病理検討会(CPC)が開催されました。CPCは当院での剖検症例を対象に毎年行われています。今年度も東北大学大学院医学系研究科病理病態学講座 病態病理学分野 古川徹教授にお越しいたごき、剖検所見および病理診断について解説を賜りましたのでここにご報告いたします。



東北大学大学院医学系研究科
病理病態学講座 病態病理学分野
古川徹教授

まず、江畑、成田ら2人の1年次研修医が症例の臨床経過を提示し、臨床上の不明点を参加者で共有された上で討議が行われました。今回の症例は経過が複雑で、その臨床経過から死因を究明するには困難であり、剖検および病理診断が必要でした。古川先生の病理学的解説により、画像検査や生化学検査等で検出できなかった数々の疑問点を解決することができました。また、病理診断がいかに臨牀的にも重要であるかということも再認識いたしました。最後になりますが、病理解剖はご遺族をはじめ、主治医や病理医、検査技師の多くの方々の協力のもとで行われています。この場をお借りして感謝申し上げます。



成田研修医(上段左写真
向かって右)・江畑研修医(上段右)
司会の杉田純一副院長(下段左)



令和5年度 日中想定 自衛消防訓練

業務課 施設管理係 山本稔

7月21日(金)、院内のスタッフ約50名が参加し、本館5階西病棟汚物処理室からの日中の出火を想定した消防訓練を行いました。日中は夜間よりスタッフ数が多く、患者さんをよりスムーズに漏れなく避難させることが期待されます。実際に今回の訓練では患者役全員を逃げ遅れることなく時間内に避難させることができました。火元の隣の病棟に患者役を水平移動させた後、ベッド搬送患者2名をレスキューシートに乗せ階下へ搬送する訓練も行いました。訓練後、患者役から「階段を降りるときにも揺れが少なく安心した」との声があり、搬送スタッフ同士の連携が非常によく出来ていたことが分かりました。今回の訓練で得た経験も糧にし、実際に火事が起きてもスムーズに避難できるよう今後も訓練を続けていきたいと思ひます。



外来担当医表

※随時更新しておりますので、下記のURLからのご確認をお願いします。

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/old/03sinryo/03gairaiDoctorList.html>



第11回 十和田市立中央病院「連携の集い」

地域医療連携部 田中裕之

7月14日(金)JA十和田おいらせ本店にて、第11回十和田市立中央病院「連携の集い」が開催されました。4年ぶりに対面形式での開催となり、会場とWeb合わせて145名の参加がありました。研修会では、呼吸器内科科長 伊藤貴司医師、外科診療部長 岩間正浩医師、整形外科診療部長 板橋泰斗医師が登壇し診療紹介を行いました。



登壇された先生方



会場の様子

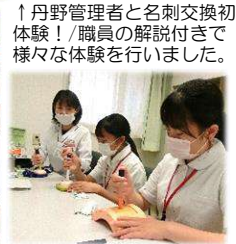


ご挨拶される上十三医師会
会長 小嶋泰彦先生



三本木高等学校附属中学校職場体験学習

7月20日(木)、21日(金)の2日間を通し3年生10名の受入れを行いました。生徒からは見学前の当院の印象として「厳格な場所」、「固いイメージ」という表現をされる生徒が多かったのに対し、見学後は「みんな優しかった」、「色々な職種が協力して病院が成り立っていた」、「雰囲気良く、スタッフ同士の関係や上下関係が良い職場だと思った」など今回の体験学習を通して自分なりに病院を理解されたのは良かったと思います。学生の皆さん、お疲れ様でした。体験学習にご協力いただいた各部門スタッフの方々、ありがとうございました。



↑丹野管理者と名刺交換初体験！/職員の見学付きで様々な体験を行いました。



三本木高等学校医療従事希望者の施設見学

7月26日(水)、8月9日(水)青森県立三本木高等学校の医療従事希望者向け見学会を行いました。両日あわせて42名の参加がありました。体験学習は進路希望の職種毎に活動が行われ、参加した生徒からは「将来の進路を考える時期にこのような貴重な体験をさせていただきありがとうございます。将来、夢を叶えて地元に戻って貢献したいと思います」など、感想をいただきました。



↑見学に先立ち東京大学 イートロス医学講座特任准教授で当院総合診療科米永一理先生が勉強への向き合い方などお話ししました。

